

カーテン

蝶がみしえていふぐ工の装束会9

最後のワカダウが終り

大子守花束をかかた 踊子の甲の蝶が去る

柔く乳をす

踊子けりりやうな

カーテンのこころは何處見ても感動の方

今昔踊子の音か耳せりこつていふ

子供のころのこと

母と姉との会話

カーテンしめよておへい

だが姉はすく下うけたま

カーテンしめよと夕ライに入れた

おしつふりわうおと姉

三才の身置け うそくカーテンかしきり

多い イスを踏つて来て イスにのりかし

しめよ イスを 襪移動してすた少ししめよ

カーテンしめよ 二苦勞さる

六才年上の姉の手下だつた

くれと存とカーテンの誤れくをかけるのだか

吾の肉親のり

お正月に存つてもふちついな黄色係り

かし干とけり 5い 零団の子子 部屋の洞和子

たもつていゝはず

新給 子の全地を 深温 ^勅 勅もり

又一平 新屋地をすもつてほしい

2021
11/11